

家庭の小技

LIFE TIPS

洗濯編vol.2
カーテンのお洗濯

カーテンには、外から吹き込んでくる埃、花粉、カビの胞子などが付着していて、さらにはダニも潜んでいます。

アレルギーを引き起こす原因は、風に吹かれることによってカーテンから舞い上がり、呼吸することによってアレルギー反応を引き起こしやすくなります。

カーテンに蓄積したアレルギーの基となる花粉などを取り除くために『夏こそ』カーテンを洗たくしましょう!!

洗濯しづらいカーテンをキレイにする5つのポイント

カーテンによく使われている素材

↓ レーヨン
洗濯による収縮が大きく、必ずドライクリーニングで。ラインが

↓ 麻・シルク
自然素材はクリーニングに出したい方が良いでしょう。

↓ 編
やや縮みやすいので注意。アイロン

↓ アクリル
熱に弱いためアイロンは不向きです。

↓ ポリエステル
洗濯による収縮が少なく、しわになります。



厚手生地カーテンを「ドレープカーテン」といいます。外側に薄地のレースのカーテンを取り付けていることが多いですが、どちらかひとつを用いる場合もあります。素材によって風合いが異なるので、自宅で洗濯できるか、クリーニングに出すべきなど自家のカーテンの素材はぜひおきましょう。

1 素材を知る

2 洗濯表記

洗えるかどうかの確認



タグ表示で「水洗い不可マーク」がついていたら色落ちしたり縮んだり風合いを損ねることがあるので、家庭で洗濯はしない方がよいでしょう。綿は、モノによって自宅で洗えるものもありますが、素材が綿・麻・シルクなど自然素材の場合は伸縮が多いので、クリーニングに出すほうが安心です。

自宅で洗濯出来るか、クリーニングに出すかを見わける

3 一回でどれくらいの洗濯ができるの?

カーテン地は水を含むと重くなるので、150cmを超えると自宅での洗濯は難しくなります。あまり多すぎる量を洗濯機で洗うと、タンブラーの水流の回転に無理が生じたり、脱水の時にカーテンが片寄ってタンブラーがガタついて

主な洗濯マーク



洗濯機のマーク
そのまま洗濯機に入れて洗う事ができます。



ドライクリーニングができます。
溶剤はパークロロエチレンまたは石油系のものを使用してください。



タライのマーク
基本的には手洗いのみとなります。



塩素漂白の可否
塩素漂白剤による漂白ができます。

動かなくなってしまうことがあります。未経験の方はできれば小さいものを洗つてみることから始めてみましょう。ドラム式の洗濯機の場合も同じような問題があるので注意してください。

**③ カーテンを折り畳む**

プリーツが崩れないよう
プリーツを全体に整
え、2つ折り、もしくは
3つ折りにします。

**② カーテンレールの
留め具から外す**

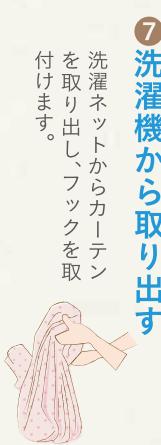
ヒダを整え、プリーツを均一にします。
プリーツが崩れないよう
に片手でしっかりと持ち、
フックをレールからはず
していきます。

**① カーテンを寄せる**

ヒダを整え、プリーツを均一にします。

4 洗濯の手順

カーテン布地に差し込まれているフック
を一つ一つ取り外します。
フックをつけたまま洗濯するとフックが
布地（とくにレース部分）に引っかかり生
地が破れてしまうので、
フックは全部外してください。
ださい。

**⑦ 洗濯機から取り出す**

洗濯ネットからカーテン
を取り出し、フックを取り
付けます。



水温は30°C以下で「手洗い(ウール)コー
ス」か「弱水流」で。
ドライコースでは、やさしく洗うため汚
れ落ちは弱めになります。
洗い時間は3分程度
度、ためすすぎなら
2回、注水すぎな
ら1回、脱水は30秒
(時間は目やすで
す)と、「すべて短い
時間で行う」というこ
とで、生地を傷めないコ
ツです。

⑥ そのまま洗濯機へ

カーテンをプリーツ状に
保つたまま、キレイに洗濯
ネットに入れます。

**⑤ 洗濯ネットに
入れる**

フックは無くならないよう
ないように保管する
ようにします。

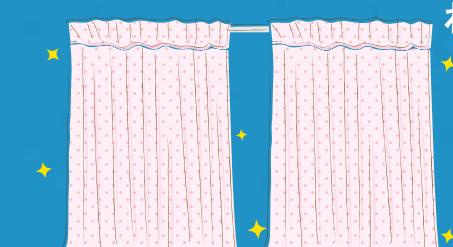
④ フックを取り外す

洗濯機の場合、脱水をやりすぎると、すごい
しづになる可能性があるので注意して下さい。
洗濯完了後、竿やロープを二本並行に張つ
てM型にかけて干します。
カーテンにフックを付け戻し、レールに
吊つて乾かすと手間が省けます。床に水が
落ちるので濡れても良い雑巾やタオルを敷
くようにしてください。
しわが戻らぬアイロ
ンがけが必要な場合は、カーテン地のタ
グ表示でアイロン掛け可能かどうか、ま
た適温や「あて布」の有無を確認し
てください。

**5 乾かす****↓洗濯したカーテンの
干し方とアイロンがけ****洗濯したカーテンの
干し方とアイロンがけ**

普段はハタキか洋服用
ブラシでほこりをは
らったり、カーペット
用の粘着ローラーで下
から上へとホコリを取
ります。花粉対策にも
なります。毎日のお手入れで汚れ
もずいぶん違ってきま
す。

ドレープは年に一回、特に
汚れやすいレースやケース
メントは年に2~3回で
す。

普段のお手入れ**カーテンを洗った後の日常のお手入れ。****洗濯の頻度**

Let's Keep On Clean!

アイロンがけのマーク

アイロンを
かけることは
できません。



180~210度の
温度でアイロンを
掛けてください。



140~160度の
温度でアイロンを
掛けてください。



80~120度の
温度でアイロンを
掛けてください。

このマークがついている生地を、
当て布なしでアイロンがけすると
その部分だけ光沢が出てしまった
りするので注意が必要です。
アイロンと生地の間に綿の布(ハン
カチ程度の厚さ)を挟んでアイロン
をかけましょう。